

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護予防教室講師派遣事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の市民	意図	介護予防に関する知識の普及啓発。
事業内容	介護度重度化防止推進員等の介護予防に関する地域を有する者を地域の高齢者団体等に派遣し、介護予防に関する知識の普及・啓発を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年から、身近な地域で介護予防に取り組めるように、県が実施している介護度重度化防止推進員養成研修を修了した「介護度重度化防止推進員」を地域へ派遣する事業を開始した。今年度は流山市において介護度重度化防止推進員養成研修を実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	推進員派遣回数	56	154	198	回	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
 介護度重度化防止推進員（ながいき応援団）として51名が登録し活動している。介護予防に取り組むきっかけとするため、オリジナルの「ながいき体操」を考案し、普及啓発を図っている。
 平成28年度からは、住民が主体となった介護予防活動の展開をめざし、「ながいき100歳体操」を指導メニューに加え、重度化防止推進員を講師として派遣した。また、ながいき100歳体操の取組団体に対し、体操だけでなく、多方面の介護予防知識の普及を図るため、栄養士や歯科衛生士を派遣し、より効果的な事業展開を目指している。

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	255,000	2,975,700	7,304,967
事業費(b)(円)	255,000	497,500	4,111,367
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)		2,478,200	3,193,600
人役・職員(人)		0.30	0.40
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)		0.20	0.40
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	新たに「ながいき100歳体操」という筋肉に負荷をかけた体操を派遣メニューに取り入れることで、自主活動につながりやすい支援をおこなうことを目指していく。	③取組の課題	「ながいき100歳体操」は、講師の派遣を原則4回程度としており、その後は、自主活動を目指しているが、活動グループのリーダーや活動の会場の選定が課題となっている。
②今年度(H28)に実施した取組	高齢者ふれあいの家や自治会、老人クラブ等30団体に説明を行い、「ながいき100歳体操」の自主活動グループが11団体立ち上がった。	④今後の改善計画	自主活動を引き続き支援していくが、自主活動のグループとして取り組みが出来ない者も、介護予防に取り組めるよう、介護予防普及啓発事業との連携を図る。